



児童たちは中村会長らの説明を受け、会員や保護者とイ草の香りや手触りなどを感じながら作業

— 小川草心会が河江小で出前授業 —

豊文化の伝承を願って

3/3 河江小(藤川裕典校長)でイ草のフォトフレーム作りがあり、3年生が地域の特産、イ草について理解を深めました。これは小川町のイ草農家で作る「小川草心会」(中村栄宏会長)がイ草や豊製品の良さを知っても

らおうと毎年開催しているもの。1組の松影蘇芳さん(9)は「楽しかった。サッカーの写真を飾りました。」と声を弾ませ、中村会長は「地域の伝統を少しでも身近に感じてもらえたら、うれしいですね。」とほほ笑みました。



「練習開始式はぜひ市民の皆さん見に来て」と中島裕二監督

— 監督と選手が来季への意気込みを語る —
フォレストリーヴズ熊本が市役所訪問

3/17 バレーボール V2リーグに所属するフォレストリーヴズ熊本の監督と選手が市役所を訪れ、守田市長に昨季の報告をしました。市と同チームは1月に連携協定を締結。旧豊野小体育館を練習拠点に地域活性化などに取り組みます。主将の川口美久さんは「最下位でしたが、次は皆さんの期待に応えたい。」と意欲的でした。



接種は家族で話し合い、判断に迷う場合はかかりつけ医に相談

— 県内2番目、3医療機関でスタート —
新型コロナワクチン小児接種始まる

3/7 市内の3医療機関で、5歳~11歳を対象にワクチン接種が始まりました。ワクチンはファイザー社製で、有効成分の量は12歳以上用の3分の1。松橋町のうちの小児科で接種を受けた松橋小の江村明音さん(11)は「副作用が心配ですが、病気は重症化しないと思うので打って良かったです。」と安堵の表情を見せていました。

市ホームページには、たくさんの写真と詳しい内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い
TOPICS



贈呈後は学校給食で提供 児童生徒の食と農への理解を深めた

— JA熊本うきが小・中学校にミニトマトを贈呈 —
栄養満点のミニトマトを召し上がれ

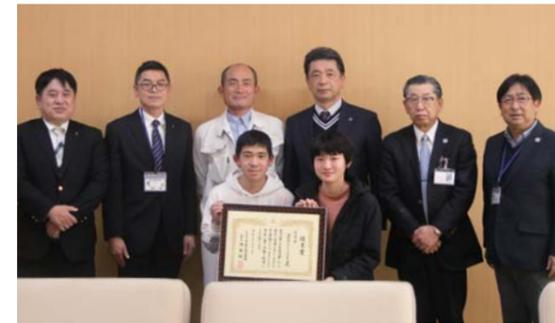
2/17 JA 熊本うきのトマト専門部会(廻田誠部会長)が不知火・松橋・豊野の小・中学校にミニトマト7,600個を贈呈しました。当尾小(志水英子校長)で行われた贈呈式では、児童を代表し松川雅玖さんと山口諒さん(共に12)が熟れたミニトマトを受け取り、「ありがとうございます。みんなで残さず食べます。」と感謝の意を伝えました。



「地元採用を優先」協定書を交わした畑野代表取締役社長

— 今秋操業開始、45人新規雇用へ —
(株)ケイ・エム・ケイが市と立地協定

2/17 松橋町にある精密機械加工製造の(株)ケイ・エム・ケイと市は、同社が新工場を建設するための立地協定を締結しました。新工場は同町に建設予定。11月の操業開始を目指します。市役所で行われた調印式で畑野裁寛代表取締役社長は、「市民の皆さまと物心共に豊かな未来を作れるよう尽力します。」と意気込んでいました。



写真前列 緒方さん、奥村さん「PH 値測定に気を遣います」

— 浜戸川の水質調査や森林整備活動に評価 —
豊野町みどりの少年団が優良賞受賞

3/2 豊野町みどりの少年団が市役所を訪れ、守田憲史市長らに、全国緑の少年団表彰で優良賞を受賞したことを報告しました。同団は、浜戸川の水質調査や森林整備活動を行っており、これらの活動が評価されました。団員の緒方啓さん(12)と奥村葵衣さん(11)は、「正確な PH 値測定を心掛けて環境保全につなげたい。」と意を語りました。



飾られたひな人形は約200点 ランチの提供も

— 「風の館 塩屋」でひな祭り —
息を吹き返すひな人形

2/27 小川町の国登録有形文化財「風の館 塩屋」でひな祭りが開かれ、訪れた人たちは江戸時代のひな飾りや御殿飾りなどを楽しみました。地元の女性グループ「風の会」の主催。代表の森田加代子さん(70)は「近所の方からお預かりしている大切なひな飾り。これからも建物と共に生かしていきたいです。」と意欲を見せました。